

いわぎん SDGs レポート

～地域の未来を共に創るために～

豊かな
くらし

豊かな
しぜん

豊かな
ところ

ガバナンス

ミライへ、のんストップ
 **岩手銀行**
 The Bank of Iwate, Ltd.



SDGsとは

SDGsは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称です。

「誰一人取り残さない」を基本理念として、持続可能で多様性と包摂性(社会のすべての人に配慮を払うこと)のある社会実現のため、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際社会全体で取り組むべき目標です。2030年を目標年として、「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」など、国際社会共通の17のゴール(目標)とゴールごとに設定された169のターゲット(個別目標)から構成されています。

SDGsは政府や企業を含むあらゆるステークホルダーがその目標達成に向け、主体的に貢献することが期待されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2019年11月発行

株式会社 岩手銀行

〒020-8688 盛岡市中央通一丁目2番3号
 TEL.019-623-1111 (代表)
<https://www.iwatebank.co.jp>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と食物油インキを使用しています。

わたしたち、岩手銀行グループが目指す姿は地域との「共存共栄」です。

わたしたちが経営基盤とする地域は豊かな自然や観光・エネルギー資源に恵まれ、その中でさまざまな文化や産業、人々の暮らしが息づいています。一方で、たび重なる大規模自然災害の影響や急速に進む人口減少、事業所数の減少などさまざまな課題も抱えています。

わたしたちは地域とともに歩む企業グループとして、地域が抱えるさまざまな課題に真正面から向き合い、課題解決に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

わたしたち、岩手銀行グループは、CSR、CSVおよびESGの取組みを「くらし」「しぜん」「こころ（人材育成）」「ガバナンス」の観点で切り分け、それぞれに重点テーマを設定してSDGsの達成を目指してまいります。

いわぎんグループSDGs宣言

いわぎんグループは、経営理念である「地域社会の発展に貢献する」「健全経営に徹する」のもと、持続可能な地域社会の実現に向けて、地域が抱える社会問題や環境問題の解決に積極的に取り組み、国連において採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献してまいります。

（SDGs取組みのイメージ（体系図））

岩手銀行の経営理念である「地域社会の発展に貢献する」「健全経営に徹する」をすべての活動の拠り所としたうえで、CSR、CSVおよびESGのプロセス（取組み）を通じて、SDGsの達成に貢献してまいります。

経営理念 「地域社会の発展に貢献する」「健全経営に徹する」

CSR Corporate Social Responsibility【企業の社会的責任】
銀行業務を通じた地域経済活性化への貢献と、地域社会や環境に配慮した企業活動の展開

プロセス **CSV** Creating Shared Value【共通価値の創造】
銀行業務を通じた地域の課題解決による共通価値の創造

ESG Environment【環境】、Social【社会】、Governance【企業統治】
環境、社会、企業統治の観点を重視した投資や融資の意思決定、企業活動

ゴール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



豊かなくらし

様々な金融サービスや商品などの提供を通じて地域社会が抱える課題を解決することで、持続可能な地域社会の実現に貢献します。



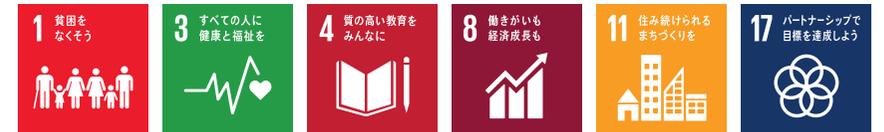
豊かなしぜん

地域資源を活用した再生可能エネルギー普及に向けた取組みや自然保護活動などを通じて、地域の豊かな自然環境の維持・向上に貢献します。



豊かなこころ

金融教育活動や文化・スポーツ振興への取組みを通じて、未来を担う若い世代の「こころ」を育むとともに、地域の皆さまの金融リテラシーの向上に貢献します。



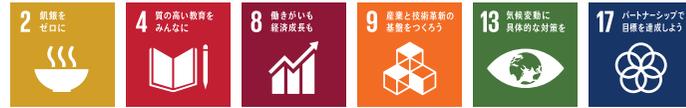
ガバナンス

自らの経営の透明性の向上に努めるとともに、職員一人ひとりが働きがいを感じて活躍する職場づくりに取り組みます。



豊かな 暮らし

持続可能な地域社会の実現に貢献します。



事業性理解による お取引先企業に対する課題解決の支援

「事業性理解」とは、お取引先企業の事業内容や課題、成長可能性をよく理解したうえで企業価値向上の支援を行うことです。お取引先企業の企業価値を向上することで、その集積体である地域経済や産業の底上げを図ります。



💡 震災時元本免除特約付き融資「バックアップ・プラン」

- ・予め定めた震度観測点において、震度6強以上の地震が発生した場合に借入元本を免除します。
- ・お取引先企業は財務面でのダメージ補填が可能となるほか、新たな資金調達余力が生じることで、企業価値の毀損を抑制することが可能となります。

事業承継・M&Aの支援

地域の経営者の方の多くが世代交代の時期を迎え、事業承継やM&Aは身近で重要な経営課題となっています。

岩手銀行ではお取引先企業の円滑な事業承継やM&Aをサポートするとともに、次世代経営者の育成も支援しています。



いわぎん次世代経営塾

起業・創業支援

岩手県内は事業所数、従業者数とも減少傾向にある一方で、学卒者の県外への流出は増加傾向にあります。

岩手銀行では、地域の雇用を創出し、地域経済を活性化する起業や創業、新事業開発の取組みを積極的に支援しています。



リエゾン-I 研究開発事業化育成資金贈呈式

地方創生の取組み

岩手銀行では、岩手県内の各自治体と地方創生に関する連携協定を締結して、各自治体と連携しながら、地域の「しごと」と「ひと」の好循環づくりや、好循環を支える「まち」の活性化に全力で取り組んでいます。

※外国人留学生モニターツアー… 外国人留学生と事業者等の意見交換を通じて、観光客受入拡大に向けた態勢整備と旅行商品の造成につなげています。



外国人留学生モニターツアー
(釜石市でのサイクリング体験)

豊かな しぜん

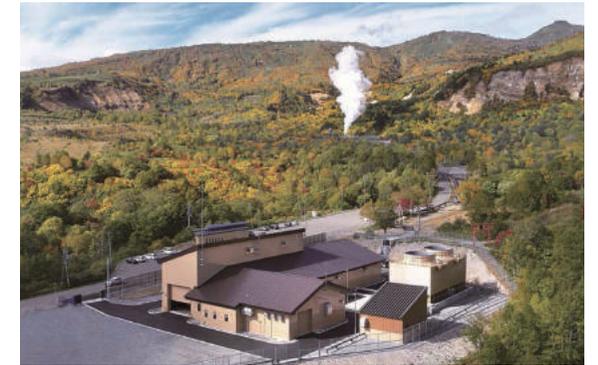
地域の豊かな自然環境の維持・向上に貢献します。



再生可能エネルギー普及に 向けた取組み

東日本大震災を契機に、クリーンなエネルギーとして再生可能エネルギーの重要性がますます高まっています。

岩手銀行では、北海道に次ぐ全国第2位の面積を有する岩手県において、豊かな自然を活用した再生エネルギー事業の普及・拡大を支援しています。



八幡平市地熱資源開発事業

いわぎん漆の郷

二戸市と「漆の林づくりパートナー協定」を締結しパートナー企業として同市内に自行の漆林を取得、管理しています。

二戸市は漆の国内生産量7割を誇る一大生産地であり、岩手銀行は「漆原木の安定確保」とともに「地域ブランドの維持・向上」も支援しています。

また、地元の中学生と一緒に漆の植栽を行って、地域の豊かな自然や伝統にあらためて触れる機会を提供しています。



環境問題への取組み

岩手銀行では、LED照明など環境に配慮した店舗づくりを進めているほか、お客さまとの各種手続きや報告書などにおいてペーパーレス化を推進しています。

また、CO₂排出の抑制や地域の景観保護を目的として、公共施設などが行う緑化の取組みや清掃活動などのボランティアにも協力しています。



豊かな こころ

地域の未来を担う若い世代の「こころ」の成長を
応援しています。



金融教育活動

岩手銀行では、ご当地ヒーロー「ガンライザー」のキャラクターと一緒に地域の小学校を訪問して「お金の出前授業」を行っており、TV番組でも、金融教育ミニコーナーを放送しています。

●概要	番組名	テレビ岩手キッズ向け番組「ガンライザーTV」
	放送日	毎週日曜 朝7:00~7:30
	コーナー名	「お金のなるほど出前授業」

(2019年10月末現在)

また、中学生を中心に職場訪問を受け入れているほか、高校生を対象にした金融出前授業、大学生への寄付講座など、世代に合わせた金融教育活動を行っています。



スポーツの振興

岩手県内にあるプロスポーツチームへの協賛を通じて、地域の子どもたちを試合に招待したり、大会を開催するなど、地域の若い世代のスポーツ振興を積極的に応援しています。



岩手銀行赤レンガ館

盛岡市中ノ橋通にある旧本店本館を「岩手銀行赤レンガ館」として2016年7月から一般公開しています。

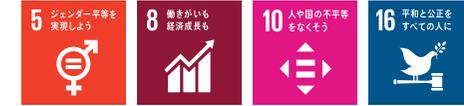
明治時代の建築様式やさまざまな歴史ある展示物を見学できるほか、コンサートや展示会にもご利用いただき、地域の賑わい創出にも貢献しています。

●岩手銀行赤レンガ館 URL
<https://www.iwagin-akarengakan.jp/>



ガバナンス

職員一人ひとりが働きがいを感じる
職場づくりを目指します。



女性の活躍推進

岩手銀行では職員一人ひとりが働きがいを感じる職場づくりに努めています。そのなかでも女性の活躍推進については、女性向けの各種研修会の開催や育児休業者支援セミナーなどの復職サポートを通じて働きやすい環境の整備に取り組んでいます。

また、女性の管理職登用やキャリアアップも積極的に応援しており、女性活躍推進法にもとづく「えるぼし(3段階目)」認定を受けています。



育児休業者支援セミナー



仕事と子育ての両立を支援

岩手銀行では職員の仕事と子育ての両立を支援するため、岩手大学と共同で事業所内保育所を設置し、運営しています。この保育所の愛称は、岩手大学と岩手銀行のイメージキャラクターの名前が双方とも「がんちゃん」であることから、「がんちゃんすくすく保育園」と名付けられました。

また、「配偶者が出産した男性行員等に占める育児休業取得者の割合」「女性行員等の育児休業等取得率」などの実績が認められ、厚生労働省より「プラチナくるみん」事業所に認定されています。



経営の透明性

岩手銀行では、経営の透明性の向上、取締役会の監督機能の強化を図るため、2018年6月に監査等委員会設置会社に移行し、一層のガバナンス強化に努めています。2019年10月末現在で、取締役会全体に占める社外取締役の割合は42.8%であり、また女性の社外取締役は2名選任されています。

